

実施要綱別紙1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (有限会社 あかり)
 介護事業所名 (グループホームあかり)
 介護保険事業所番号 (2392300121)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

見守り機器について	①見守り機器の導入 (予定) 日	R5年2月
	②介護ロボットの製品名	みまもりベッドセンサー

通信環境整備時期 (予定)	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
R4年12月	-	R5年2月	-

(1) 事業概要及び整備スケジュール

R4年 8月 見守り機器のお試し利用会を実施
 R5年 2月 内示発表後、契約・導入準備 無線LAN環境を改善する工事の実施
 R5年 2月 無線LAN工事・みまもりベッドセンサーの稼働開始
 R5年 2月 介護記録ソフト「ほのぼの」を導入 研修会を実施・導入アドバイザーより個別に指導を受ける
 // バイタル記録など数値記録の入力からスタート、1ヶ月単位で記録を手書きからデジタル化へ移行

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ① ITツールを活用した介護記録システムを導入し職員に定着する
- ② 原因が不明確な事故や怪我の減少
- ③ 職員の人員不足に対するストレスの軽減
- ④ ご利用者の安心安全な生活環境構築により顧客満足度の向上

(3) 通信環境整備により期待される効果等

- ① ITツールを活用した介護記録システムの導入により介護職員の業務負担の軽減。
- ② 通信環境が安定することにより、見守りの目をITに補助してもらうことで事故の減少や事実に基づいたケア計画の策定ができるようになる。
- ③ 記録にかかる時間を削減することで、ご利用者との対話に時間を使うことができるようになる。
- ④ コロナなどの感染症により面会制限をせざるを得ない中で、オンラインツールを使った面会機会などの充実を図ることが出来る。

(4)適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

- ※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
- ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。		○
②見守りセンサーについて		
今年度導入予定	○	既に導入済み
見守りセンサーの製品名	みまもりベッドセンサー	
③インカム・スマートフォン等のICT機器について		
今年度導入予定	○	既に導入済み
ICT機器の製品名	iPad・Inspiron 14	
④介護記録ソフトについて		
今年度導入予定	○	既に導入済み
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT (NDソフトウェア)	
⑤従前の介護職員等の人員体制	ユニット9名のご利用者に対して1日平均3.3名の職員配置（夜勤含む）	
⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	各ユニット9名のご利用者に対して1日平均4.0名の職員配置（夜勤含む）	
⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容		
<p>管理者自身のICT機器への苦手意識から一切活用することができていない。そのため介護職員を平均4.0名確保を目指し、体制を確保することで負担の軽減を図ってきたが、慢性的な人手不足に陥り職員の残業などの対応で補い続けてきた。それでも不足する状態が続くため業務の優先順位による提供サービスの縮小を余儀なくされた対応を行っている。現在テクノロジーの力を借りる必要性を痛感するようになった。</p>		
⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組		
<p>現在は職員一人一人のスキルアップを図るため、管理者自身が講師となり、またさまざまな研修へ職員を派遣し質の向上に努めてきた。休憩時間は、お互いが協力する形で休憩時間を取るよう心がけてきた。</p>		

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (株式会社 ライフタップ)
 介護事業所名 (くるみの木稲沢)
 介護保険事業所番号 (2373902226)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器について	①見守り機器の導入 (予定) 日	令和4年11月
	②介護ロボットの製品名	aams. 介護セット

通信環境整備時期 (予定)	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和4年11月		令和4年11月	

(1) 事業概要及び整備スケジュール

事業概要…「見守り介護ロボットアアムス B018-AAMSKS」の導入するにあたり、現在のwifi環境では施設内全域 (特に入居者様の居室内) までカバーすることが出来ず、通信エラー等が想定され、見守り機器を有効に活用できないため、wifi環境の増設工事を行う。

整備スケジュール…令和4年9月申請
 令和4年11月導入予定
 交付決定後、直ちに工事の発注。同時にaams・介護セットの発注

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ・wifi環境を整備し、施設内全域をカバーすることにより、通信エラーなどなく見守り環境を整える。
- ・居室内における入居者様の生活のリズムの把握を把握することができ、生活の質を向上させることができる。また、業務を効率化することができ、職員の負担軽減、サービスの質の向上につなげる。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

- ・施設内全域をカバーするwifi環境を整えることにより見守り機器を有効に活用することができるようになる。
- ・入居者様の生活リズムの把握により、生活の質を向上させることができる。
- ・危険動作の予兆の検知ができるようになることにより、転倒事故のリスク軽減ができるようになる。
- ・転倒、転落を検知することで、早く介助できる。
- ・訪問回数を軽減することにより、利用者様の安眠の確保がされる。
- ・介護職員の業務負担軽減により、職場環境が改善される。

(4) 適用を受けようとする補助率

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にする。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。		○	
②見守りセンサーについて			
今年度導入予定	○	既に導入済み	×
見守りセンサーの製品名	aams.介護セット		
③インカム・スマートフォン等のICT機器について			
今年度導入予定	×	既に導入済み	○
ICT機器の製品名	Apple iPad		
④介護記録ソフトについて			
今年度導入予定	○	既に導入済み	×
介護記録ソフトの製品名	ワイズマンすぐろくTablet		
⑤従前の介護職員等の人員体制	利用者人数:35人 日中職員数:13人		
⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	利用者人数:35人 日中職員数:12人		
⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容			
見守りセンサー、介護記録ソフトの連携により、日中夜間の生活リズム（呼吸、心拍、睡眠のリズム等）を視覚的に把握するだけでなく、記録化することもでき、職員間の情報共有や負担軽減、ご家族様への情報提供などがスムーズに行えるようにする。 異常を検知した際のアラートにより、より素早く対応することができるようになる。 タブレット端末による記録入力の手軽化により、職員の業務軽減、質の高いサービス提供を図る。			
⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組			
入居者様の体調の変化を即座に察知することができ、職員間の迅速な情報共有により、質の高いサービスを提供することができる。 リスク管理に対する職員の精神的、身体的ストレスの軽減、休憩時間の確保等安心して業務に当たれる職場環境の整備の実現を図る。 記録入力の手軽化により、業務の効率化、負担軽減を図る。			

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (医療法人あやめ会)
 介護事業所名 (グループホームかえて)
 介護保険事業所番号 (2395700111)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

見守り機器について	①見守り機器の導入 (予定) 日	令和4年12月26日
	②介護ロボットの製品名	眠りスキャン

通信環境整備時期 (予定)	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年1月		令和4年12月26日	

(1) 事業概要及び整備スケジュール

令和4年12月中に機材購入
 令和4年12月中に業者よりロボット説明を受け、設置を行う。その際にネットの環境の整備を行う。

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

見守りの安全性を強化する。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

介護職員の負担を軽減させることによって職場環境の改善を図る。
 利用者様の睡眠時間や質を把握し、改善に繋げるためのデータとして活用を行う。

(4) 適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にする。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	×
見守りセンサーの製品名	眠りスキャン		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定	×	既に導入済み	○
ICT機器の製品名	すぐろく		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定	×	既に導入済み	○
介護記録ソフトの製品名	ワイズマン		

⑤従前の介護職員等の人員体制

16名

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

16名

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

居室で過ごす利用者様の睡眠・覚醒・起き上がり・離床がわかるので利用者様の状態に合わせたケア・見守りが可能になります。特にスタッフの少ない夜間帯に役立ちます。また介護ソフトと連動する事が出来る為、介護記録の登録の効率化も図る事が可能です。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

利用者様の呼吸数、心拍数の長期変動を記録する事が出来る為体調変化にも敏感にとらえることが可能です。その為、異常時の早期発見にも約立ちます。スタッフルームで全居室の利用者様の状態が把握できるため必要以上の巡回が必要なくなり休憩時間の確保にも繋がります。また携帯電話にも通知する事が可能であり、職員が他利用者様の対応中でスタッフルーム不在時でも利用者様の状態が把握でき、リスクの軽減に役立ちます。

実施要綱別紙1（通信環境整備用）

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名（ D & M株式会社 ）
 介護事業所名（ ソレイユ ビラ大門 ）
 介護保険事業所番号（ 2372103727 ）
 サービス種別（ 特定施設入居者生活介護 ）

見守り機器について	①見守り機器の導入（予定）日	2023年3月
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

通信環境整備時期（予定）	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数	購入日（予定）	リースの契約期間（予定）
2023年2月		2023年2月	

(1) 事業概要及び整備スケジュール

事業概要

wifi環境を整備し、「眠りSCAN」を使用することにより、利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・介護従事者の負担を軽減する。また、状況に合わせたケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上を図る。

導入スケジュール

補助金交付決定後、速やかに導入する。（2023年 3月導入予定）

(2) 通信環境整備により達成すべき目標（導入後3年間）

- ・リアルタイムに可視化される利用者様の睡眠状況に合わせ、見回り業務、排泄ケアを行う。
- ・リアルタイムモニターにて入居者様の状況を把握することにより、見回り業務を約30%低減し、夜勤職員の負担を軽減させる。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

wifi環境を整備し、眠りSCANを使用できる環境を整えることで下記効果を期待する。

- ・利用者提供サービスの向上。
- ・職員の精神的・身体的な負担の軽減。

(4) 適用を受けようとする補助率

3/4 /

(5) 補助率の3/4の要件の確認

- ※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
- ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定	○	既に導入済み	
ICT機器の製品名	iPad		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT、CarePalette (NDソフトウェア株)		

⑤従前の介護職員等の人員体制

2.3:1

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

2.7:1

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避ける。
- ・「眠りSCAN」の通知機能、ICT機器を活用し、タイムリー且つ必要な際のみ職員が対応に動くことができるため、従来の巡視方法を見直すことにより、見回り業務を減らす。
- ・眠りSCANのモニターを見ながら、タブレットにて介護記録を入力することにより、記録業務低減、安全な見守りにつなげる。
- ※決まった時間での巡視ではなく、入居者様の状況に合わせて巡視を行う。
- 余剰の時間に従来他勤務時間帯に行っていた業務を遂行し、人員体制の効率化を図る。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、スマートフォンにて入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや訪室を行うことにより、利用者の睡眠時間を確保する。
- ・スタッフルームや休憩室にいる間も、PC、iPadにてリアルタイムの各入居者様の情報を確認することができるため、休憩時間の確保につなげる。
- ・夜勤者の訪室回数を減らし休憩時間の確保につなげる。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (医療法人福友会)
 介護事業所名 (介護老人保健施設はっ田)
 介護保険事業所番号 (2350580045)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器について	①見守り機器の導入 (予定) 日	2023年2月
	②介護ロボットの製品名	眠りScan

通信環境整備時期 (予定)	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2023年2月		2023年1月	

<p>(1) 事業概要及び整備スケジュール</p> <p>事業概要 見守り支援システム「眠りSCAN」を使用することにより、利用者様の情報 (睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数) をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・介護従事者の負担を軽減する。また、状況に合わせてのケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上を図る。</p> <p>導入スケジュール 補助金交付決定後、速やかに導入する。(令和4年度 2月導入予定)</p>
<p>(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)</p> <p>職員の精神的・身体的負担の軽減。利用者様への提供サービスの質の向上。</p>
<p>(3) 通信環境整備により期待される効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> リアルタイムに可視化される利用者様の睡眠状況に合わせ、見回り業務、排泄のケアを行う。 居室内での転倒事故件数を削減させる。(数値目標: 30%削減) 離職率を低減させる。(数値目標: 30%削減) リアルタイムモニターにて利用者様の状況を把握することにより、夜勤職員の負担を軽減をさせる。(数値目標 例: 巡視5回→3回、見守り業務30%削減)

(4)適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にする。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
見守りセンサーの製品名	眠りScan		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定	○	既に導入済み	
ICT機器の製品名	arrows BZ02、iPad		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
介護記録ソフトの製品名	ケア記録オプション		

⑤従前の介護職員等の人員体制

看護職員10.3名、介護職員23.3名

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

看護職員10.3名、介護職員23.3名

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避ける。
- ・「眠りSCAN」の通知機能を活用し、夜勤者が携帯するスマートフォンに動きのあった入居者様の情報が入り、タイムリー且つ必要な際にのみ職員が対応に動くことができるため、従来の「定時巡視」から「適宜巡視」に変えていき、効率化を推進する。
- ・眠りSCANのモニターを見ながら、タブレットにて介護記録を入力することにより、記録業務低減、安全な見守りにつなげる。

※決まった時間での巡視ではなく、入居者様の状況に合わせて巡視を行う。
余剰の時間に従来他勤務時間帯に行っていた業務を遂行し、人員体制の効率化を図る。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、スマートフォンにて入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや訪室を行うことにより、利用者の睡眠時間を確保する。
- ・スタッフルームや休憩室にいる間も、PC、スマートフォン・タブレット端末にて、リアルタイムの各入居者様の情報を確認することができるため、休憩時間の確保につなげる。
- ・巡視の方法を「定時巡視」→「適宜巡視」に変更することにより、訪室回数を減らし負担軽減につなげる。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (医療法人中野会)
 介護事業所名 (グループホームRU・RU・RU)
 介護保険事業所番号 (2392400186)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

見守り機器について	①見守り機器の導入 (予定) 日	2023年1月
	②介護ロボットの製品名	リコーみまもりベッドセンサーシステム

通信環境整備時期 (予定)	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2023年1月		2023年1月	

(1) 事業概要及び整備スケジュール

- ・見守り業務の効率化を図り、日中夜間の業務負担を軽減する。
- ・サービス向上に繋げる。
- ・交付決定通知到着後30日以内に導入する。
- ・導入後に事業者より職員への製品勉強会を実施する。

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

- ・入居者の転倒・転落、皮下出血等の減少に繋げる。
- ・入居者の行動把握と分析を行い、支援に活かす。
- ・介護スタッフの業務を軽減する。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

- ・入居者の転倒転落を未然に防止する。
- ・入居者の夜間の不安行動を把握をし、事前に支援介入することで、入居者の睡眠確保をし、日中の活動量を増やす。
- ・介護スタッフの業務負担を軽減する。

(4) 適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定

○

既に導入済み

見守りセンサーの製品名

リコーみまもりベッドセンサーシステム

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定

既に導入済み

○

ICT機器の製品名

iPad

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定

既に導入済み

○

介護記録ソフトの製品名

ワイズマン

⑤従前の介護職員等の人員体制

15人

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

15人

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

・見守り業務に時間や負担がかかっており、常に周囲を気にしている環境下で、入居者とのコミュニケーションにかけられる時間が少ない。そのため、人員体制はそのまま継続を見込んでいる。時間が削減できれば、レクリエーションやコミュニケーションなど他の業務に人員を活用する。また、入居者が料理、洗濯、掃除など活動量を増やせるように働きかけ、業務負担の軽減のみでなく、サービス向上に繋がられるように取り組んでいく。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・巡視前に見守り機器のモニター画面を確認することで、入居者の状況を把握し、対応の優先順位づけを行う。
・見守り機器の導入により、入居者のアラーム発報のタイミングを知ることができ、生活パターンや傾向を理解することができるために、夜間帯で言うならば、訪室するタイミングを調整し、眠りの妨げにならないように対応する。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (株式会社サンメディック東浦)
 介護事業所名 (介護付有料老人ホーム敬愛苑藤沢)
 介護保険事業所番号 (2375701782)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器について	①見守り機器の導入(予定)日	令和4年12月頃
	②介護ロボットの製品名	見守り介護ロボット aams

通信環境整備時期(予定)	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数	購入日(予定)	リースの契約期間(予定)
令和4年12月頃		令和4年12月頃	

(1) 事業概要及び整備スケジュール

(事業概要) 見守り介護ロボットaamsを導入し、転倒・転落事故の予防を図ると共に、これまで詳細な把握が困難であった睡眠や生活リズムを把握することで、職員の負担軽減と業務の効率化、個別ケアの質向上に繋げていく。
 (スケジュール) R4年9月に申請。交付決定の承認後、速やかに導入及び取扱い説明会を実施し運用を開始する。以降、運用状況を確認し、実績報告を行う。

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

aamsを導入し、介護ソフトと連動させることにより入居者様の状況把握がしやすくなり、重度化した入居者様の情報収集がより細かく出来るようになる。業務の効率化を図りながら、ケアの質を高め、転倒・転落事故を未然に防げるような体制づくりを行っていく。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

aamsを導入することで、人員体制を効率的に運用できるようになり、介護従事者の負担軽減が期待できる。また、介護従事者の負担軽減に関する取り組みを行うことによって、離職の防止に繋げることが出来る。入居者様のケアに関してはaamsの導入により、入居者様の睡眠の妨げになるような不要な訪室を減らすことができ、生活リズムや心拍の状態の把握によって、より入居者様の状態に合わせたきめ細かなケアを実践できる。介護ソフトと連動することにより、入居者情報の把握や、生活リズムをより正確に分析することができる。

(4) 適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認
 ※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
 ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
 （厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。 ○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
---------	---	--------	--

見守りセンサーの製品名	見守り介護ロボット aams
-------------	----------------

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	○
---------	--	--------	---

ICT機器の製品名	交互通話・中継対応特定小電力トランシーバー
-----------	-----------------------

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	○
---------	--	--------	---

介護記録ソフトの製品名	ほのほのNEXT
-------------	----------

従前の介護職員等の人員体制	入居者2.5人に対して職員1人
---------------	-----------------

介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	入居者2.8人に対して職員1人
---------------------------	-----------------

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサーの導入やインカム、介護ソフトを活用し職員同士のコミュニケーションの効率化を図る。今までは動きの予測は難しかったため巡視の回数を多くとっていたが、aamsの導入により効率的な巡視を行うことができる。またインカムの活用により職員同士のコミュニケーションが円滑になり業務の無駄な動きが少なくなった。これらを活用することで、施設全体の人員配置を最低基準は保ちながらも日中の職員配置を緩和することができる。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・職員同士のコミュニケーションの円滑や業務の無駄な動きを見直し、残業時間を1人当たり月に2時間は短縮する。記録作成など業務のタイミングを見直すことで、夜勤時間の見直しや業務時間帯の見直しを図る。
 ・入居者様のケアの質の向上を目指し、各入居者担当に見守りセンサーを設置後の入居者様の状態を3カ月に1度検討することでケアの質の向上を図る。

実施要綱別紙1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (株式会社サンメディック豊田)
 介護事業所名 (介護付有料老人ホーム敬愛苑)
 介護保険事業所番号 (2373002290)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器について	①見守り機器の導入 (予定) 日	令和4年12月頃
	②介護ロボットの製品名	見守り介護ロボット aams

通信環境整備時期 (予定)	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和4年12月頃		令和4年12月頃	

(1) 事業概要及び整備スケジュール

(事業概要) 見守り介護ロボットaamsを導入し、転倒・転落事故の予防を図ると共に、これまで詳細な把握が困難であった睡眠や生活リズムを把握することで、職員の負担軽減と業務の効率化、個別ケアの質向上に繋げていく。
 (スケジュール) R4年9月に申請。交付決定の承認後、速やかに導入及び取扱い説明会を実施し運用を開始する。以降、運用状況を確認し、実績報告を行う。

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

aamsを導入し、介護ソフトと連動させることにより入居者様の状況把握がしやすくなり、重度化した入居者様の情報収集がより細かく出来るようになる。業務の効率化を図りながら、ケアの質を高め、転倒・転落事故を未然に防げるような体制づくりを行っていく。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

aamsを導入することで、人員体制を効率的に運用できるようになり、介護従事者の負担軽減が期待できる。また、介護従事者の負担軽減に関する取り組みを行うことによって、離職の防止に繋げることが出来る。入居者様のケアに関してはaamsの導入により、入居者様の睡眠の妨げになるような不要な訪室を減らすことができ、生活リズムや心拍の状態の把握によって、より入居者様の状態に合わせたきめ細かなケアを実践できる。介護ソフトと連動することにより、入居者情報の把握や、生活リズムをより正確に分析することができる。

(4) 適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
 ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
 （厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にする。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

◎

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	◎	既に導入済み	
見守りセンサーの製品名	見守り介護ロボット aams		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	◎
ICT機器の製品名	交互通話・中継対応特定小電力トランシーバー		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	◎
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT		

⑤従前の介護職員等の人員体制

入居者2.5人に対して職員1人

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

入居者2.8人に対して職員1人

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサーの導入やインカム、介護ソフトを活用し職員同士のコミュニケーションの効率化を図る。今までは動きの予測は難しかったため巡視の回数を多くとっていたが、aamsの導入により効率的な巡視を行うことができる。またインカムの活用により職員同士のコミュニケーションが円滑になり業務の無駄な動きが少なくなった。これらを活用することで、施設全体の人員配置を最低基準は保ちながらも日中の職員配置を緩和することができる。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・職員同士のコミュニケーションの円滑や業務の無駄な動きを見直し、残業時間を1人当たり月に2時間は短縮する。記録作成など業務のタイミングを見直すことで、夜勤時間の見直しや業務時間帯の見直しを図る。
 ・入居者様のケアの質の向上を目指し、各入居者担当に見守りセンサーを設置後の入居者様の状態を3カ月に1度検討することでケアの質の向上を図る。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人淳涌界)
 介護事業所名 (特別養護老人ホームおふくろの家)
 介護保険事業所番号 (2377500323)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器について	①見守り機器の導入(予定)日	令和5年1月1日
	②介護ロボットの製品名	見守り介護ロボット aams

通信環境整備時期(予定)	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数	購入日(予定)	リースの契約期間(予定)
令和4年12月20日		令和4年12月20日	

(1) 事業概要及び整備スケジュール

通信環境の整備により、見守り介護ロボットaamsを運用する。
 見守り介護ロボットaamsの導入により、入所者様の各情報(心拍・呼吸・睡眠・体動・離床)をリアルタイムで可視化することが可能になる。入所者様の見守り強化と介護職員の業務効率の向上、身体的・精神的負担を軽減する。

- ・スケジュール
- 交付決定後、速やかに導入する。
- (申請) 令和4年9月
- (通信環境整備) 令和4年12月
- (aams運用開始) 令和5年1月

(2) 通信環境整備により達成すべき目標(導入後3年間)

- ・入所者様の夜間の睡眠を妨げないように適切なタイミングでの居室訪問を実施し、入所者様のより良い睡眠を目指す。
- ・モニターで入居者様の状態確認(心拍・呼吸・睡眠・体動・離床)ができるため、質の高いケア向上を目指す。
- ・居室訪問の数を減らし、介護職員の業務効率向上と身体的・精神的負担の軽減を目指す。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

- ・夜間に状態確認を行い睡眠を妨げないで居室訪問を行いケアを行うことができる。
- ・各情報(心拍・呼吸・睡眠・体動・離床)をもとにケアプランの見直しに活用することができる。
- ・モニターにて入所者様の状況を確認することが可能となり、居室訪問の回数が減り夜間帯の介護職員の身体的・精神的負担を軽減することができる。
- ・見えるかされたデータをもとにご家族に詳細な状況報告をすることができる。

(4)適用を受けようとする補助率

1/2

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にする。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定		既に導入済み	
見守りセンサーの製品名			

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	
ICT機器の製品名			

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	
介護記録ソフトの製品名			

⑤従前の介護職員等の人員体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 ((株)ニッケ・ケアサービス)
 介護事業所名 (ニッケあすも一宮)
 介護保険事業所番号 (2372203428)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器について	①見守り機器の導入 (予定) 日	令和5年3月1日
	②介護ロボットの製品名	HitomeQケアサポート

通信環境整備時期 (予定)	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年3月1日		令和4年12月末日	

(1) 事業概要及び整備スケジュール

HitomeQケアサポートの導入により、居室の天井に取り付けた行動分析センサーで入居者様の危険行動を感知・認識して、介護スタッフのスマートフォンに起床・離床・転倒といった分析結果とともに映像を送付することを目指しており、その為の通信環境を整える。またその整備により、送られてくる映像を転倒・転落時のエビデンスとすることもでき、原因の推測と対策検討が可能となり、業務効率化とケア品質向上が期待できる。また、介護スタッフの介護記録入力も施設内のどこでもタブレットで可能となる。そのためにアクセスポイントを25箇所を設置する予定。

＜導入スケジュール＞
 交付決定後に速やかに発注し、導入準備を進める。令和4年12月発注し、令和5年3月使用開始予定。

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

現在、ニッケあすも一宮では58人 (満床時) においては、夜勤帯に介護スタッフ4人が対応しており、これを介護ロボット導入とその他の通信環境整備により3人とする。また、日勤帯においては、早番4人、日勤4人、遅番4人の合計12人体制であるものの、これを1.5人削減し、その人員については、入居者様とのコミュニケーション等によって、入居者様の満足度向上を目指していく。

従って、夜勤人員については年間労働時間5,840時間の削減 (16時間×1人×365日)、日中については年間4,380時間 (8時間×1.5人×35日) を入居者様との更なるコミュニケーション等に充てることとなる。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

通信環境整備によるHitomeQケアサポートの導入により、入居者様のより精緻な行動分析が可能となり、定期的な訪室ではなく、入居者様の必要に応じたケアができるようになる。介護スタッフはそれを継続的に実行することにより、入居者様の健康状態等の把握するレベルが高まり、介護サービスの質の向上も見込まれる。

また、転倒等の事故発生時の原因の究明が容易となり、施設全体としてのリスクマネジメントのレベル向上も期待できる。

従って、業務効率化による経費削減だけでなく、介護スタッフの技能向上、施設としての介護サービスレベル、リスクマネジメント能力の向上が期待できる。

(4) 適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	◎	既に導入済み	
見守りセンサーの製品名	HitomeQケアサポート		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定	◎	既に導入済み	
ICT機器の製品名	スマートフォン（Apple製iPhone）		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	◎
介護記録ソフトの製品名	ほのほのNEXT		

⑤従前の介護職員等の人員体制

夜勤帯4人、日勤帯12人

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

夜勤帯3人、日勤帯10.5人

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- (1) 見守りセンサー導入により、入居者様の行動をより精緻に把握することができるようになる為、定期的な訪室を控え、入居者様の必要なタイミングでおむつ交換等のサービス提供ができるようになり、業務の効率化が図れる。
- (2) インカムの活用により、業務連絡にかかる時間の短縮と今まで以上の情報共有が可能となる。
- (3) 介護記録については、紙ベースからシステム入力への変更を予定しており、それにより業務の効率化・標準化を図り、情報共有が容易になることより、介護サービスの質の向上につなげる。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- (1) 介護記録をシステム入力とする事により、介護スタッフ、看護師、ケアマネ、管理者全員が、入居者様の全情報をいつでも見ることができるようになり、この情報共有により介護サービスの質は格段に向上すると期待している。また、ご家族様や訪問診療時の医師、救急搬送時の救急隊員へも、タブレットにデータを保存することで、適切にわかりやすく入居者様の状態を説明することができるようになる。
- (2) 夜勤帯においては、実質的には2人で介護業務に対応し、1人は待機的役割とする予定。日勤帯は1.5人を通常業務から外れるため、これらの余裕人員により休憩時間等は適切に確保できる見込み。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (株式会社波の女)
 介護事業所名 (グループホーム滝子通一丁目)
 介護保険事業所番号 (2390700124)
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

見守り機器について	①見守り機器の導入 (予定) 日	令和5年1月
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

通信環境整備時期 (予定)	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年1月		令和5年1月	

(1) 事業概要及び整備スケジュール

【事業概要】
 ○グループホームの居室全18室に「眠りSCAN」を導入する。
 ○眠りSCANで、利用者の睡眠時における心拍数・呼吸数等の情報を把握でき、居室外に居る職員にその情報状態、心拍数・呼吸数等の情報を見ながら介護することでスタッフの負担軽減を図る。

【導入スケジュール】
 2023年1月に導入し、本事業に係る眠りSCAN, 既存の介護ソフト, モバイルデバイス, インカムを活用予定

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

- 眠りスキャンが安定稼働している。
- 手元のiPhoneで眠りSCANの発報がキャッチできる。
- 手元のiPhoneで既存の介護ソフトが活用できる。
- 手元のiPhoneでインカムが活用できる。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

- 眠りSCANが的確に作動することで、利用者に対し、適時的確な介助ができる。
- 職員は手元のiPhoneで移動中も、発報データをキャッチすることができる。
- 手元のiPhoneで記録もできるので、スタッフの記録に係る負担軽減が図れる。
- 手元のiPhoneを通じてインカムが活用できるので、スタッフ同士の協力体制がとれる。

(4) 適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
 ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
 （厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。		○	
②見守りセンサーについて			
今年度導入予定	○	既に導入済み	
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN		
③インカム・スマートフォン等のICT機器について			
今年度導入予定		既に導入済み	○
ICT機器の製品名	iPhone, iPad		
④介護記録ソフトについて			
今年度導入予定		既に導入済み	○
介護記録ソフトの製品名	CAREKARTE		
⑤従前の介護職員等の人員体制	グループホーム事業所に二つの共同生活住居（定員各9名）を有し、各共同生活住居ごとの介護職員配置は、①日勤者8時間（9時～18時）②遅勤者8時間（11時～20時）③夜勤者（入り）16時～24時④夜勤者（明け）0時～11時となっている。日中時間帯（5時～22時）に総配置時間数28時間、夜勤及び深夜の時間帯（22時～5時）に4時間（休憩3時間）である		
⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	現状1勤務（8時間）当たり最大90分程度要している記録等に要する時間数を最大50%削減、1勤務平均70分程度要しているところを30分程度（40%弱）削減することで、1日あたり2時間程度（4勤務）の時間を生み出す。グループホームは常勤職員で構成しているので生み出した時間分を削減するのではなく、人員体制は変わらずとも、入居者へ直接関わる時間数を増やすことと記録のために超過勤務しなくても良いようにする。併せて介護計画作成担当者が計画作成に要する時間数の削減を図っていく。また、場合によっては生み出した時間数を併設事業（小規模多機能型居宅介護で非常勤職員が就労している）に兼務とさせることで、併設事業も合わせた施設全体で人員削減効果をあげることを可能にする。		

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- 環境が整備されることで、眠りSCAN、iPhone、インカムが安定稼働することで既存の介護システムCAREKARTEと連携させることで、発報データの自動記録化とシステム上の介護記録と一体的にアセスメントできることでより良質な介護サービスが提供できる。
- 手元のiPhoneやiPadでも、発報がキャッチから状態確認までできるので、複数が起こっても的確な優先順位をつけて介助することができる。
- 上記により、良質なサービスを提供でき、利用者の安寧な生活、スタッフのさらなる負担軽減が図れることで、夜間は人員基準として現人員を削減できないが、日中の基準を超えたスタッフが削減できる。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- 環境が整備されることで、眠りSCAN、iPhone、インカムが安定稼働することで夜間、不要な定期巡視を回避することで、利用者に良質な睡眠を提供し、スタッフの軽減が図れる。
- 眠りSCANのデータが介護ソフトに自動連係されるので、記録負担の軽減ができる。
- 眠りSCANは、設定によって他のユニットの状態もモニターできるので、設定を切り換えてモニターをユニット間で協力して見てあげることにより、夜間スタッフが休憩を確実にとることができる。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人等生会)
 介護事業所名 (特別養護老人ホームかくれんぼ)
 介護保険事業所番号 (2390300289)
 サービス種別 (地域密着型特定施設入居者生活介護)

見守り機器について	①見守り機器の導入 (予定) 日	令和4年12月
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN NN-1520 無線接続タイプ

通信環境整備時期 (予定)	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和4年12月		令和4年12月	

(1) 事業概要及び整備スケジュール

事業概要: すでに3台眠りSCANの導入を実施しているが、通信環境を整備し、導入台数を増やすことにより介護職員の見守り業務の負担の軽減、ご利用者様の状態をリアルタイムで可視化する。
 導入スケジュール: 交付決定後発注、12月以降無線環境設置工事を行い、眠りSCAN導入後順次環境確認等と並行し職員への説明を実施

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

現在は通信環境に制限があり、眠りSCANの使用可能な居室の方のみが対象となっている。(29床中3床) 環境の整備に伴って眠りSCANなどの居室においても使用可能な状態に環境を整備し、居室や事業所内の共用部分でPCやタブレットを使用可能な状態にする。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

運用状況の確認はPCで行うが、共用部分等、場所を選ばず利用者の状況が確認できるようになる。利用者の状況をリアルタイムで把握することにより利用者の健康管理や事故防止、職員の巡視の負担軽減を図る。また記録業務の時間短縮、情報の共有化を図る。

(4) 適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	○
---------	---	--------	---

見守りセンサーの製品名	眠りSCAN NN-1520 無線接続タイプ
-------------	------------------------

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	○
---------	--	--------	---

ICT機器の製品名	I PAD
-----------	-------

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
---------	---	--------	--

介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXTクラウド
-------------	--------------

⑤従前の介護職員等の人員体制

	19人に対し2人の夜勤者
--	--------------

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	夜間帯の可視化によりエビデンスに基づく新人指導を実施できるため、理解しやすくなり指導しやすくなる。
----------------------------	---

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

眠りスキャン（見守りセンサー）とICT機器（iPad）を活用することで、ベッド上の動作を映像で確認したり、睡眠時の状態の把握が可能になるため、緊急時の的確な判断やターミナルケア時の適切なタイミングでのかわりや対応ができる。また、夜間帯の定期巡回の無駄を省き介護職員の負担軽減に繋げる。さらに眠りスキャンで入手したデータを介護記録に入力、活用して、利用者生活リズムを把握し、個別ケアの質の向上と生産性向上に取り組めます。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

情報をご家族やケアマネージャー、介護従事者と共有し睡眠導入剤の投薬効果の検証に役立てる。また、夜勤者の負担軽減のため居室で過ごすご利用者様の状態を見える化することで、巡視の回数を減らす。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 永熊会)
 介護事業所名 ((地域密着型)特別養護老人ホーム きらめき)
 介護保険事業所番号 (2391400211)
 サービス種別 (地域密着型特定施設入居者生活介護)

見守り機器について	①見守り機器の導入 (予定) 日	2023年2月
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

通信環境整備時期 (予定)	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2023年2月		2023年1月	

(1) 事業概要及び整備スケジュール

事業概要

wifi環境を整備し、見守り支援システム「眠りSCAN」を使用することにより、利用者様の情報（睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数）をリアルタイムで可視化し、業務の効率化・介護従事者の負担を軽減する。また、状況に合わせてのケアを行うことにより、利用者様に提供するケアの質の向上を図る。

導入スケジュール

補助金交付決定後、速やかに導入する。(2023年 2月導入予定)

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

wifi環境を整備することにより、眠りSCANを使用することができ、下記項目を目標とする。

- ・リアルタイムに可視化される利用者様の睡眠状況に合わせ、見回り業務、排泄のケアを行う。
- ・居室内での転倒事故件数を削減させる。(数値目標:10%削減)
- ・リアルタイムモニターにて入居者様の状況を把握することにより、夜勤職員の負担を軽減をさせる。(数値目標:見守り業務20%削減)

(3) 通信環境整備により期待される効果等

wifi環境を整備することにより、眠りSCANを使用することができ、下記効果を期待する。

の睡眠状況に合わせた個別ケアの実現。

QOLの向上。

・職員の精神的・身体的な負担の軽減。

・利用者
 ・利用者の

(4)適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	○
ICT機器の製品名	iPad		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	○
介護記録ソフトの製品名	ケアコネクトジャパン 「ケアカルテ」		

⑤従前の介護職員等の人員体制

30名

⑥介護ロボット等の導入後に見込む
介護職員等の人員体制

25名

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避ける。
 - ・「眠りSCAN」の通知機能を活用し、動きのあった入居者様の情報がタブレットへ入り、タイムリー且つ必要な際にのみ職員が対応に動くことができるため、従来の「定時巡視」から「適宜巡視」に変えていき、効率化を推進する。
 - ・眠りSCANのモニターを見ながら、タブレットにて介護記録を入力することにより、記録業務低減、安全な見守りにつなげる。
- ※決まった時間での巡視ではなく、入居者様の状況に合わせて巡視を行う。
余剰の時間に従来他勤務時間帯に行っていた業務を遂行し、人員体制の効率化を図る。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、スマートフォンにて入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや訪室を行うことにより、利用者の睡眠時間を確保する。
- ・スタッフルームや休憩室にいる間も、PC、タブレット端末、インカムにて、リアルタイムの各入居者様の情報を確認することができるため、休憩時間の確保につなげる。
- ・巡視の方法を変更することにより、訪室回数を減らし休憩時間の確保につなげる。

実施要綱別紙1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会医療法人宏潤会)
 介護事業所名 (大同老人保健施設)
 介護保険事業所番号 (2351280009)
 サービス種別 (介護老人保健施設)

見守り機器について	①見守り機器の導入 (予定) 日	2023年2月
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

通信環境整備時期 (予定)	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2023年2月	15台	2023年2月	

(1) 事業概要及び整備スケジュール

眠りSCANやインカム導入によるWifi環境の整備及びその他の業務改善、利用者の療養生活の改善が期待できる通信機器の導入を可能にするためのWifi整備

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

Wifi環境を整備し、眠りSCANやインカムを導入することにより、業務の効率化、職員の身体的、精神的負担の軽減を図る
 入所者の起き上がり等動作を把握することで転倒転落のリスクの軽減を図る

(3) 通信環境整備により期待される効果等

・Wifi環境を整備することにより眠りSCANを導入し、職員の身体的・精神的負担の軽減ができ、入所者の転倒転落のリスクの軽減ができる。また、Wifi環境が整うことで居室内で随時タブレット端末への入力ができ、入所者の傍にいて状況を把握することができ、電子カルテへの入力時間短縮にも繋がり業務の効率化が期待できる

(4) 適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

- ※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
- ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

◎

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	◎	既に導入済み	
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定	◎	既に導入済み	
ICT機器の製品名	デジタルインカム		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	◎
介護記録ソフトの製品名	寿システム		

⑤従前の介護職員等の人員体制
看護職員13名 介護職員26.8名

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
36名

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、入所者の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより不要な訪室を避ける
- ・「眠りSCAN」の通知機能を活用し、夜勤者が携帯するスマートフォンに動きのあった入所者の情報が入り、タイムリー且つ必要の際にのみ職員が対応に動くことができるため、従来の「定時巡視」に変えていき、効率化を推進する。
- ・眠りSCANのモニターを見ながらタブレットにて介護記録を入力することにより記録業務削減、安全な見守りに繋げる。
- ・決まった時間ではなく入所者の状況に合わせて巡視を行う
- ・インカムを使用し入所者への迅速な対応・各職員の連絡体制の効率化を図る
- ・余剰の時間に従来他勤務時間に行っていた業務を遂行し、人員体制の効率化を図る

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、スマートフォンにて入所者の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムで確認することにより、不要な訪室を避け、覚醒したタイミングに合わせて排泄ケアや体位変換・訪室を行うことにより、入所者の睡眠時間を確保する。
- ・スタッフステーションや休憩室にいる間もPC、スマートフォン、タブレット端末にてリアルタイムの各入所者の情報を確認することができるため、休憩時間の確保に繋げる。
- ・巡視の方法を「定時巡視」→「適宜巡視」へ変更することにより、訪室回数を減らし負担軽減に繋げる

実施要綱別紙1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (株式会社 ミッドランド)
 介護事業所名 (有料老人ホーム ミッドランド知多)
 介護保険事業所番号 (2375702327)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器について	①見守り機器の導入 (予定) 日	令和4年11月
	②介護ロボットの製品名	aams 介護セット

通信環境整備時期 (予定)	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和4年11月		令和4年11月	

(1) 事業概要及び整備スケジュール

※事業概要
 aams介護セット導入に伴うWi-Fi環境の整備
 ※スケジュール
 令和4年9月 申請
 令和4年11月 導入予定交付決定後、直ちに工事とaams介護セットを同時に発注

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

Wi-Fi環境の整備とaams介護セットの導入によって職員の身体的・心理的負担軽減を目標とする。
 危険動作の予兆の察知による転倒・転倒のリスクを軽減し、安心して質の高いサービスの提供を目標とする。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

Wi-Fi環境の整備により施設内どこにいても利用者様の状況を把握することができる事により下記の効果が期待される。
 危険動作の予兆の察知による転倒・転倒のリスクの軽減ができる。
 介護職員の身体的・心理的負担の軽減による労働環境の改善がされる。
 利用者様の睡眠状況の把握により訪室を減らすことができ、睡眠の質の向上が期待される。

(4) 適用を受けようとする補助率

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	×
見守りセンサーの製品名	aams 介護セット		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定	○	既に導入済み	×
ICT機器の製品名	Apple iPad		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定	○	既に導入済み	×
介護記録ソフトの製品名	ワイズマン		

⑤従前の介護職員等の人員体制
利用者人数：33名 介護職員数：13名

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
利用者人数：33名 介護職員数：12名

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

見守りセンサーの導入により利用者様の状況を職員間での情報の共有化、記録業務へとつなく、効率的かつスムーズな対応が可能となり職員の業務、身体的、心理的負担の軽減につながる。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

利用者様の状態の変化をリアルタイムで察知、職員間での情報共有により迅速で質の高いサービスを提供することができる。
夜間帯など人員配置が減少の勤務帯においても転倒・転落等のリスクに対する身体的、心理的負担の軽減、休憩時間の確保等、労働環境の整備を図る。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (医療法人社団同仁会)
 介護事業所名 (介護付有料老人ホームファミ
 リンエ)
 介護保険事業所番号 (2372901336)
 サービス種別 (特定施設入居者生活介護)

見守り機器について	①見守り機器の導入 (予定) 日	令和4年12月31日
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN (パラマウントベッド社製)

通信環境整備時期 (予定)	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和4年12月31日		令和4年12月31日	リースなし

(1) 事業概要及び整備スケジュール

事業概要
 機器を導入することにより、入居者の見守り業務 (特に夜勤帯) の効率や向上により職員の負担軽減を図る。
 ・通信環境の整備として無線LAN環境を整備し、施設内の全領域のアクセスが可能となり、夜間見守りで活用するのみでなく、看護師がどこにいてもバイタル異常の通知が受信できるようになる。
 ・現在の通信機器に無線LANを追加し、通信エリアの拡大及び通信速度の改善を目的に実施する。

整備スケジュール
 交付決定後、速やかに発注し、機器の手配・機器の設置工事実施・動作検証等を実施する。

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

介護ロボットの利用による、導入効果の達成

(3) 通信環境整備により期待される効果等

- ・介護ロボットの導入によって期待される効果の実現
- ・介護職員間のコミュニケーション活発にすることや介護記録等を電子化することによる作業効率の向上。
- ・入居者様の生活リズムの把握、客観的根拠に基づいた効果的な支援が可能となる。
- ・従来は看護師が各居室へ訪問し、バイタルチェック確認をしていたが、機器等を利用することにより訪室回数が減り、入居者様の身体的負担が軽減できる。

(4) 適用を受けようとする補助率

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。

※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
（厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にする。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

○

②見守りセンサーについて

今年度導入予定

○

既に導入済み

見守りセンサーの製品名

眠りSCAN(パラマウントベッド社製)

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定

○

既に導入済み

ICT機器の製品名

MousePro, iPhoneSE

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定

既に導入済み

○

介護記録ソフトの製品名

ブルーオーシャン

⑤従前の介護職員等の人員体制

入居者様3人に対して職員1名

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

現状の3:1より改善させる

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

介護記録の電子化により情報を一元化することによりスタッフ間での情報が共有化できることや記録作成時間の短縮に繋がった。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

・個別での担当者会議でフィールドし、多様なご利用者に対応したケアの質の向上を図る。
・職員のケア（業務内容）を見直すことにより、効率で適切な役割分担を検討することにより、ケアの質の向上と職員の負担の均一化や残業時間の短縮を図る。

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人和敬会)

介護事業所名 (特別養護老人ホームなごみの郷)

介護保険事業所番号 (2393300070)

サービス種別 (地域密着型介護老人福祉施設)

見守り機器について	①見守り機器の導入 (予定) 日	令和5年3月
	②介護ロボットの製品名	A. I. Viewlife

通信環境整備時期 (予定)	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
令和5年2月		令和5年2月	

(1) 事業概要及び整備スケジュール

現在、施設内Wi-Fiは全館に配備されているが、この度導入したい介護ロボット「A. I. Viewlife」の導入のためには、居室内まで有線LANを配線する必要があることから、当該通信環境整備を行いたい。急速見守りが必要な利用者にも対応が可能になるようLAN配線を構築する
 交付決定後速やかにネットワーク工事 (利用者の感染症対策に配慮した工事計画の策定) を行い、ネットワーク工事完了後には「A. I. Viewlife」の導入をしたい。

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

どの居室の利用者でも、介護ロボット「A. I. Viewlife」による見守りを行える環境が整備され、利用者の安全、安心だけでなく、見守り業務の効率化スタッフの身体的、精神的負担が軽減され、更なる介護の質の向上が望める。

- ・居室内でも危険予兆動作である検知通知を受けることができること
- ・既設で利用していたiPadに加え、スマートフォンでも介護記録ソフトの入力ができること
- ・既設で利用していたiPadに加え、スマートフォンでも危険予兆動作の検知通知を受けることができること
- ・見守りセンサーをスタッフメンバーにより移設できること

上記を段階的にスタッフのレベルに合わせてメーカーと協力し、運用に落とし込んでいく

(3) 通信環境整備により期待される効果等

- ・LAN配線工事を潤沢にすることにより、見守りセンサーの移設に柔軟に対応できること
- ・感染症対策の際の隔離部屋として活用が見込まれる (クラスター対策)
- ・既設の無線Wi-Fi環境とネットワーク接続をすることにより、居室内でも危険予兆動作である検知通知を受けることができる

(4) 適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
 ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
 （厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にすること。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。		○	
②見守りセンサーについて			
今年度導入予定	○	既に導入済み	×
見守りセンサーの製品名	A. I. Viewlife		
③インカム・スマートフォン等のICT機器について			
今年度導入予定	○	既に導入済み	×
ICT機器の製品名	arrow端末BZ02		
④介護記録ソフトについて			
今年度導入予定	×	既に導入済み	○
介護記録ソフトの製品名	FT-Care		
⑤従前の介護職員等の人員体制	1.5 : 1		
⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	2 : 1（あくまで理想の数字ではあるが、ただ基本的な考え方としては介護ロボット導入で人員を削減するのではなく、効率化されることでその分の時間を利用者のための質向上に使用したい。）		

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・日中においては、フロアで過ごされる利用者を見守るスタッフが、フロアで見守りや同一ICT機器を使用した記録を行いながら、システム上（センサー検知による見守りも含む）において居室で過ごされている方の見守りも行えるため、各フロアにおいて見守りに必要な人員を効率化することに取組む。
- ・これまで見守りに必要であった人員を、より人手が必要な業務に配置することが可能となるため、必要となる場所に必要の人材を効率的かつ効果的に最適配置することに取組む。
- ・夜間時間帯には、2時間ごとの定時巡回を利用者1人あたり4回実施している。夜勤スタッフ1名あたり約20人の利用者に対応するため、1回の夜勤で80回の定時巡回を行っている。この夜間時間帯における定時巡回を、センサー導入が完了した入居者については4時間ごととし、定時巡回の回数を50%減にする。減少させた定時巡回の時間には、システム上で巡回を行うことで、これまで同様のサービスの質は担保される。定時巡回以外のその他の巡回はセンサー検知のみとする。これにより、定時巡回の回数減少による、夜勤スタッフの身体的負担は大幅に軽減することができ、更に常にフロアにいないがらの休憩でなく、スタッフルームなどで休憩時間を確保することも可能となるように取組む。
- ・記録ソフトへの入力も見守りセンサーの検知や見守りも同じスマートフォンとタブレット機器で可能となるため、どこにいても、ICT機器が手元にあるスタッフなら誰でもその場で記録にも見守りにも対応することが可能となる。これにより、センサー反応があった際、「ちょっといま手が離せないから、〇〇さん、□□さんのお部屋まで対応して!」ということが減少し、自分でICT機器を確認し、対応する優先順位を判断し行動でき、スタッフ1人の行動にかなりの余裕が生まれる。

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・居室に実際に訪室しての巡回回数を削減させることができることで、特に夜間は巡回により利用者が睡眠を妨げられるなどがなくなる。
- ・転倒・転落事故のリスクを減少させることができる。
- ・日中については、見守りに必要な人員を効率化することで、効率化された分の人員は余裕をもって休憩を取ることが可能となる。
- ・夜間についても、フロア内の離れた場所に位置する居室内をシステム上で確認できるため、巡回回数の軽減や、余分な訪室を削減でき、身体的な負担を軽減させることができる。また、いつでもどこでも居室内を確認できるため、夜間の精神的な負担も軽減することができる。
- ・巡回回数の軽減で、夜勤スタッフの休憩時間の確保も可能となる。センサー反応によるフロアと居室の無駄な往来（従来はセンサーが反応すると必ず居室へ出向き状況確認していたものを、見守りシステム上でどこにいても可能にさせる。）を減少させる。

実施要綱別紙1 (通信環境整備用)

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (医療法人 豊和会)
 介護事業所名 (老人保健施設かずえの郷)
 介護保険事業所番号 (2353080035)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器について	①見守り機器の導入 (予定) 日	2023年2月
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

通信環境整備時期 (予定)	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2023年2月		2023年1月	

(1) 事業概要及び整備スケジュール

事業概要
 無線WIFIを整備することにより、通信環境を担保し、下記内容にて「眠りSCAN」を導入致します。
 見守り支援システム「眠りSCAN」を使用することにより、業務効率、介護従事者の負担軽減、利用者様へのケアの質の向上を図る。

- ・利用者様の情報 (睡眠・覚醒・起き上がり・離床・呼吸数・心拍数) をリアルタイムで可視化
- ・利用者様の状況に合わせてのケアを行うことが出来る。

導入スケジュール
 補助金交付決定後、速やかに導入する。(令和4年度 2月導入予定)

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

通信環境を整備し、眠りSCANを導入することで、
 ・リアルタイムに可視化される利用者様の睡眠状況に合わせ、見回り業務、排泄のケアを行う。
 ・居室内での転倒事故件数を削減させる。(数値目標 30%削減)
 ・リアルタイムモニターにて入居者様の状況を把握することにより、夜勤職員の負担を軽減をさせる。(見守り業務時間 20%削減)

(3) 通信環境整備により期待される効果等

通信環境を整備し、眠りSCANを導入することで、
 ・利用者の睡眠状況に合わせた個別ケアの実現。
 利用者のQOLの向上。
 ・職員の精神的・身体的な負担の軽減。

(4)適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の 3 / 4 の要件の確認

※補助率 3 / 4 の適用を受けようとする場合は、記載すること。
 ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
 （厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にする。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。	○
--	---

②見守りセンサーについて			
今年度導入予定	○	既に導入済み	
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について			
今年度導入予定	×	既に導入済み	○
ICT機器の製品名	IPAD		

④介護記録ソフトについて			
今年度導入予定	×	既に導入済み	○
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT		

⑤従前の介護職員等の人員体制	看護介護職員 55名（昼間 20～30名、夜勤 7名）
----------------	-----------------------------

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制	人員体制は同じであるが、見守り業務にかかる時間を短縮し、より質の高いケアを提供する
----------------------------	---

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムをPC、タブレットで確認することにより、不要な訪室を避ける。 ・眠りSCANのモニターを見ながら、タブレットにて介護記録を入力することにより、記録業務低減、安全な見守りにつなげる。 ・決まった時間での巡視ではなく、「眠りSCAN」の情報を元に、入居者様の状況に合わせて巡視を行うい、余剰の時間に従来他勤務時間帯に行っていた業務を遂行し、人員体制の効率化を図る。
---	---

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・見守りセンサー「眠りSCAN」を使用し、入居者様の睡眠・呼吸・心拍をリアルタイムをPC、タブレットで確認することにより、不要な訪室を避ける。 ・眠りSCANのモニターを見ながら、タブレットにて介護記録を入力することにより、記録業務低減、安全な見守りにつなげる。 ・決まった時間での巡視ではなく、「眠りSCAN」の情報を元に、入居者様の状況に合わせて巡視を行うい、余剰の時間に従来他勤務時間帯に行っていた業務を遂行し、人員体制の効率化を図る。
---------------------------------------	---

見守り機器の導入に伴う通信環境整備計画書

法人名 (社会福祉法人 杏園福社会)
 介護事業所名 (ひびのファミリー)
 介護保険事業所番号 (2370901593)
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

見守り機器について	①見守り機器の導入 (予定) 日	2023/3/1
	②介護ロボットの製品名	眠りSCAN

通信環境整備時期 (予定)	インカム機器、ウェアラブル端末の導入台数	購入日 (予定)	リースの契約期間 (予定)
2023/2/28		2023/2/1	

(1) 事業概要及び整備スケジュール

◆事業概要
 機器の導入により、見守り業務 (特に夜間) の業務効率向上と職員負担軽減を図る。

◆スケジュール
 交付決定後に速やかに見守り機器を購入すると共に、2月末までに機器の購入と環境の整備を実施。
 2月中に職員向けの説明会を行い、3月から全入居者に対して使用開始を目指す。

(2) 通信環境整備により達成すべき目標 (導入後3年間)

今年度中は入居者の睡眠状況を踏まえ、起きている時間帯での排泄介助を徹底する。
 またモニターとなるタブレットを協カユニット職員へ渡し、仮眠を伴う90分の休憩時間の確保を実現する。
 次年度からは睡眠リズムを根拠とした、施設サービス計画や24日シートを全入居者に対して作成する。
 また夜勤負担による離職者を限りなく0人に近づける。

(3) 通信環境整備により期待される効果等

今年度中は入居者の睡眠状況を踏まえ、起きている時間帯での排泄介助を徹底する。
 またモニターとなるタブレットを協カユニット職員へ渡し、仮眠を伴う90分の休憩時間の確保を実現する。
 次年度からは睡眠リズムを根拠とした、施設サービス計画や24日シートを全入居者に対して作成する。
 また夜勤負担による離職者を限りなく0人に近づける。

(4) 適用を受けようとする補助率

3/4

(5) 補助率の3/4の要件の確認

※補助率3/4の適用を受けようとする場合は、記載すること。
 ※「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（パイロット事業改訂版）」
 （厚生労働省老健局・令和2年3月発行）を参考にする。

①少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うとともに、利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定している。

◎

②見守りセンサーについて

今年度導入予定	◎	既に導入済み	
見守りセンサーの製品名	眠りSCAN		

③インカム・スマートフォン等のICT機器について

今年度導入予定		既に導入済み	◎
ICT機器の製品名	ケアパレット		

④介護記録ソフトについて

今年度導入予定		既に導入済み	◎
介護記録ソフトの製品名	ほのぼのNEXT		

⑤従前の介護職員等の人員体制

8時間夜勤・ユニット5名体制

⑥介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制

1.2時間夜勤・ユニット5名体制

⑦見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトの3点を活用した従前の介護職員等の人員体制の効率化に関する具体的な取組内容

- ・眠りSCAN導入のにより、夜勤帯での90分休憩を確保
- ・スマートフォンやタブレット端末を早番と遅番に支給し、手薄になる日勤帯の連絡手段を確保
- ・記録ソフトの申し送り機能を活用し、入居者への直接支援時間を確保

⑧利用者のケアの質や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減に資する具体的な取組

- ・同フロアの逆ユニット職員へ眠りSCAN用モニタータブレットを渡し、休憩中の応援体制を強化
- ・睡眠中の排泄介助を実施する事を避ける事により、入居者の安眠を確保
- ・睡眠リズムの把握に伴い、各種ケアに根拠を持って取り組む事が出来る
- ・家族への状況報告についても、客観的な記録に基づいて実施が可能となる